

瑞穂町 観光協会 & 町議会

町の観光事業の振興を担うため、昭和52年に発足した団体。現在、会員33名、賛助会員19名で運営されています。瑞穂町観光協会の皆さまにお集まりいただきお話を伺いました。

観光事業で社会貢献。私たちが、会員の願いです。

Q どんな活動をしていますか？

— 4月のさくらまつり、8月のサマーフェスティバルを主催しています。
— さくらまつりでは、朝6時から、ぼんぼり、のぼり旗、テント張り、舞台の飾りつけなど、いろいろあります。
— サマーフェスティバルでは5月から、福生警察署、福生消防署、西多摩保健所への届出と交渉。参加団体の募集。当日は、朝7時から会場の設営や会場ご近所の方々に協力をお願いなどをしています。
— ほかに、残堀川ふれあいウォーキングやさやま花多来里の郷など、町内の観光行事のほとんどでお手伝い。広域で行っ

ている事業にも協力しています。
— どんな行事も商工会や町の職員の助けがないと、とてもじゃないけどできません。大変感謝しています。

Q 観光協会に入ったきっかけは？

— 同じ町内に観光協会会長がいて、直々に「ぜひ、やってくれ」。ほかの役職もあつたので、悩んだ末に引き受けました。
— 親戚に商工会員がいて、「道路沿いのぼんぼりの飾り付け、手伝うだけでいいから」と言われて…いつの間にかズルズルと(笑)。

Q 活動していて良かったこと、大変だと思っことは？

— 「町の観光産業の一翼を担っている」という感覚が芽生えたことかな。
— 月に1回、駅のコンシェルジュコーナーで観光案内をしています。駅の業務のことを尋ねられます。「よろず相談」になっているかな。それでも「笑顔」をモットーに対応しています。
— 会員みんな瑞穂町が好きで、「町の活性化と観光事業の発展」を志して入会してくれたボランティア団体だから、忙しいけど大変だと思っている人はいません。

Q 今後、チャレンジしてみたいことは？

— 残堀川ふれあいウォーキングの時、川にこいのぼりを飾っているけど、その中に一部の保育園・幼稚園の子供たちの手作りのこいのぼりを飾っています。それを発展させて、町内全部の保育園・幼稚園の子供たちの「手作りこいのぼりコンテスト」をやってみたい。
— 瑞穂音頭を普及させたい。歌詞に「平和・団結 飛躍を辿り 未来豊かな 郷土づくり」とあるけど、瑞穂町のポリシーはその歌詞に込められていると思っています。

Q 瑞穂町の魅力は？どんな町になって欲しい？

— シクラメン、ヒマワリ、カタクリ、山野草など、大勢の方が花を見に来てくれる。狭山丘陵の自然はいいね。
— 観光客がいっぱい来る、魅力ある町。



5月に行われた残堀川ふれあいウォーキングに合わせて飾られたこいのぼり

— 町の行事など全く関心が無かったけど、定年になって町内会長を経験していくうちに、「町のために俺は貢献する」とみんなに宣言。「観光大使になりたいから観光協会に入れてくれ」と自分から願い出しました。今思えば…軽率だったかな(笑)。

— 瑞穂町の商工会に30年勤めていて、その間、観光協会の仕事を体験させていただきました。だから、自分の経験を活かすことで、今の商工会の皆さんの負担を少しでも減らしたいと思って。

— いい所はあるけど…大型バスが止められる駐車場があるといいな。

Q 「ギカイのひろば」について

— たまにしか見てない。読者を増やすなら選挙の時だけでなく、議員の普段の活動(笑)。
— 表紙。パッと見た時の印象。カラーになって良くなった。
— 議会の傍聴に来てもらえれば、読者も増えると思う。

Q 最後にPRをお願いします。

— 8月31日、スカイホールで開催する「みずほ音頭カラオケのど自慢コンクール」へご来場ください。入場は無料です。観光事業で社会貢献。私たち、会員の願いです。

参加して下さった皆さん、ご協力ありがとうございました。



(左から) 前原 守さん 臼井 栄さん 高水 正彦さん 池谷 建一さん (瑞穂町郷土資料館「けやき館」にて)